

議会だより

NO.5

吉野川市



「おまと」川田八幡神社 川端悦子

目次

代表・一般質問P2

議案の審議からP12

市民のページP10

市民のみなさんへの募集P16

クイズP11

■発行／吉野川市議会

■編集／議会広報特別委員会

■住所／〒776-8611 徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1

■TEL.(0883)22-2241

■FAX.(0883)22-2242

2006.2.25

代表・一般

ここが聞きたい

質問

12月議会定例会では13名の議員が代表・一般質問を行いました。

の質問を中心に取り上げました。

代表質問

①工藤 俊夫 議員
飯尾川の改修について

社会教育法を根拠として
る公民館について
農業の振興について

②谷田 義一 議員

2011年テレビデジタル
化について

●不納欠損・市民税・固定資産
税・軽自動車税)について

③枝澤 幹太 議員

●吉野川市2006年度予算
基本方針を受けて
大規模災害について

④岡田 光男 議員

●市巡回バスの運行について
徳島滞納整理機構について

一般質問

⑤後藤田 哲夫 議員

●アスベスト使用箇所と予算
措置について

●中央広域環境施設組合の適
正な事務処理、効率的事務
執行、また、予算措置等に
ついて

⑥菜原 五男 議員

●吉野川市観光協会のあり方
について

⑦岸田 秀樹 議員

●防災について
浸水対策について

⑧福岡 正 議員

●アスベスト対策について
学校及び登下校時の危機管
理体制について

行政改革の進捗状況につ
いて

⑨玉水 好夫 議員

●若者定住の吉野川市づくり
施策について

地下水低下と農業用水確保
支援について

⑩高木 純 議員

●行政体制の整備について
公平性に配慮した自主財源
の確保について

中央広域環境施設組合への
負担金について

中央広域環境センター建設
の契約に関して

⑪増富 義明 議員

●少子化対策について

●幼保一元化について

●下水道事業について

●少子化対策について

側溝清掃について

⑬藤原 一正 議員

●吉野川市における人づくり
のための、学校教育のあり
方について

●就学前における人づくりの
ための、教育のあり方につ
いて

●合併後1年を経過したが、
今後の政策課題はどのよう
に取り組むのか

代表質問



工藤 俊夫 議員
(清友会)

湯吸谷川、市の対応について

(質問)

川島土木と協議する

(答弁)

◎質問 昭和52年から53年の2か年をかけ、当時の建設省は、直轄調査をし、飯尾川流域全体で90トンのポンプ排水施設を整備する方針を確立した。さて、いまだに進展を見ない吉野川市内を流れている湯吸谷川の排水機

場を本市の最重要課題として取り上げ、再開すべきだと考えるが、答弁を願う。

◎再問 台風時に防災対策本部である吉野川市役所へ四方から出入するためにも、何としても飯尾川の早期改修が必要である。このため行政対応として、湯吸谷川の準用河川を一級河川への昇格と、水路を管理している麻名用水土地改良区の一級河川指定の同意が必要とな

つてくる。市は、行政対応をどのように進めるのか。

○建設部長 以前国において、飯尾川全体の内水排除施設計画の中で、10トン規模で検討されたこと聞いています。具体的な設置場所、時期、規模等

業で実施するもので、市



工事中の湯吸谷川

としても条件整備が必要です。湯吸谷川の昇格は、旧川島町時代にも何度か申請をしていましたが、いまだ指定されていません。指定可能かどうか、県と再度協議したいと考えています。そして条件が整った時点で、地元協力を求めてまいります。

◎再々問 飯尾川流域全体で90トンのポンプ排水施設整備計画の内、「関」の排水40トンは既に完成し、下流部「角の瀬」の

排水ポンプも平成18年20年度で40トンの完成を見る。あと残すところ10トンの「湯吸谷川」の排水ポンプだけになる。毎年国に陳情している飯尾川改修期成同盟会の要望書に、湯吸谷川を入れるべきだと思いが、考えを伺う。

○市長 毎年のごく発生する、市内の飯尾川の浸水被害については、十分認識しています。湯吸谷川は飯尾川の本

当の源流だと思えますが、やはり条件整備が必要だと考えます。それと麻名用水土地改良区との協議も十分やっていきたいと思っています。

あるのか。
○答弁 鴨島公民館に指定管理者制度を導入するもので、文部科学省は、整合性については問題がないとの見解を出している。

【その他の質問】

◎質問 社会教育法と指定管理者制度は整合性が

○答弁 生産農家や消費者のニーズがあれば、市として協力していきたい。



谷田 義一 議員
(麻植会)

不納欠損処理をどうするのか 課を越えて共同徴収

(質問) (答弁)

◎質問 固定資産税など各税の不納欠損について、合併後6か月の実質処理について聞きたい。
収納率が年々低下している現在の税制度の構造的な問題点について、見

解と解決策はどのようなものか。
また悪質滞納者に対する時効中断について、単に滞納者データをやり取りすることや、共同処理にとどまらない課を越え

た連携を検討をしているか、伺いたい。あわせて、各課で調整業務が合同で行えるのか。
職員的能力を高める専門研修や滞納整理の手法開発をしているのかどうか。

方、また生活が極めて緊迫している方、所在が不明の方などいろいろ手を尽くしても、やむを得ず5年の時効を迎えてしまう場合もあります。
悪質滞納者に対する時効中断の件については、関係する課と共同処理の方向で、今後、先進事例等参考に検討したいと考えています。

◎質問 農業振興のため、もう一か所、農産市はできないのか。
また、平成18年1月から税制改正、定率減税について定額控除は、年金額にかかわらず50万円であるが、65歳以上では、さらに50万円の定額控除となる。公的年金等、控除の最低保証額については、65歳以上の人は140万円であったが、120万円になる。年金受給者には、非常に大きな負担増となる。一体どのように考えているのか。

職員等の専門的研修については、徳島滞納整理機構の共同処理業務の中に滞納整理に係る特例研修があります。今後、本市からも派遣する予定であり、徴収率の向上に寄与するものと考えています。
年金生活者あるいは生活が苦しい方については、年度内の納付回数を分割納付とするなど対応したいと思えます。

【その他の質問】

◎質問 吉野川市のデジタル放送の対応は

○答弁 旧美郷村と山川町の山間部については、市が光ケーブルで対応する。



枝澤 幹 太議員
(薫風会)

市の将来像は

個性を育てる町づくり

(質問)

(答弁)

◎質問 2006年度予算方針は、マイナスシリング設定となった。その要因と対策、対策の結果による市の将来像はどうなるのかを問う。

○企画財政部長 要因として、国における地方分権の推進と三位一体改革に伴う地方財政制度の変更に伴い、国庫補助金、負担金の削減及び市税・地方交付税などの一般財源総額が大幅な増加が見込めない状況となっております。

◎質問 2006年度予算方針は、マイナスシリング設定となった。その要因と対策、対策の結果による市の将来像はどうなるのかを問う。

○企画財政部長 要因として、国における地方分権の推進と三位一体改革に伴う地方財政制度の変更に伴い、国庫補助金、負担金の削減及び市税・地方交付税などの一般財源総額が大幅な増加が見込めない状況となっております。

◎質問 2006年度予算方針は、マイナスシリング設定となった。その要因と対策、対策の結果による市の将来像はどうなるのかを問う。

○企画財政部長 要因として、国における地方分権の推進と三位一体改革に伴う地方財政制度の変更に伴い、国庫補助金、負担金の削減及び市税・地方交付税などの一般財源総額が大幅な増加が見込めない状況となっております。

◎質問 2006年度予算方針は、マイナスシリング設定となった。その要因と対策、対策の結果による市の将来像はどうなるのかを問う。

入業など活発な経済活動を基盤にし、大都市にない個性を育てながら町づくりをすすめていく方針です。

【その他の質問】

◎質問 台風、地震等の

大規模災害時に住民の避難場所となる広場、公園等の確保が必要ではないか。

○答弁 今後整備目標を定め、検討していきたい。



岡田 光 男議員
(日本共産党)

巡回バスの途中乗車は

利用者の声を聞き検討したい

(質問)

(答弁)

◎質問 市の巡回バスについてであるが、一日平均1・5人と利用が低迷している。その原因には、庁舎まで行かなければならないので使い勝手が悪いとの声がある。

運行については、4庁舎間の機能を補完し、市民へのサービスの低下を招かないようにするため、2年間の試行として運行するものです。

◎再問 市の事業経営は、いかに市民に喜んでもらえるか、これが基本だと考える。群馬県の玉村町では、1000円で乗れるワンコインバスが町内を5コースに分けて走り、年間利用者は延べ2万4813人と、交通弱者に喜ばれている。公共施設を結ぶ運行など知恵と工夫を

◎総務部長 2年間やってみて方向性を見いだしたいと考えています。現時点では、住民要望もいろいろ聞いていますが、午前、午後の会議に合わせるようなダイヤ改正とし、利便を図っていききたいと考えています。

住民要望として
は、ふいご温泉まで延ばしてほしい、庁舎以外での停留所を設けてほしい、市の会合に間に合う運行ダイヤに改正してほしいなどの意見を聞いているが、可能な部分として、運行ダイヤの改正を考えています。



待機する市巡回バス

◎再々問 ダイヤの改正では抜本的な改善にならない。毎日空っぽのバスが走っているということは市内中に無駄遣いの宣伝をして回っているようなものである。職員の意識改革が必要というが、理事者の意識改革が本当に必要でないか。

○市長 利用者の声を聞

き、交通弱者のために知恵と工夫をし、今後検討していきたいと思えます。

【その他の質問】

◎質問 滞納整理機構で行きすぎた税の取り立てはないか。

○答弁 生活困窮者には過度な徴収はしない。

一般質問



後藤田 哲 夫 議員

環境施設組合の、不適正な支出の対応は構成自治体と協議し、適切に処理

(質問) (答弁)

◎質問 新ゴミ処理施設建設工事において、平成14年10月の見積り様書では、設計または工事施工中に疑義が発生した時は、受注者は組合と協議し、

その指示に従う。原則として変更は認めない。また、施設の機能が全うできない場合、改善、変更を受注者の責任において行うなど、いろいろの取

中央広域環境施設組合の焼却施設



り決めがある。

当初の技術提案の電力料金は、一、四〇五万円で、電力は余るとされていた。ところが、現在の年間電力料金は、一億六、三一六万円となっており、また、試験運転中の経費負担についても、平成16年度12月、1月、2月、3月分として五、〇五八万円支払っているが、他市では支払っていない。LNGガス代金については運転期間中であり、請求もないのに三、五〇〇万円支払っている。これ

当初予算の協議内容についての説明を求めぬ。

また、中央広域環境施設組合の業務委託の件で吉野川市議会議員が逮捕されたが、今後こういった事件が起らない制度改革をすべきであるが答弁を求めぬ。

○市長 今後10年間、一部事務組合関係の施設維持管理費を含め、義務的経費、また必要経費のヒヤリングを行い、加入市町で、対応方法等を協議しながら、適切な負担金

では大多数の市民は納得しない。

組合議会加入市町の負担金使用については、行政コスト計算書の作成と適正な額の予算化及び効率的事務執行に努めるべきであり、予算のチェック機能と、

を持ち出すような方向で調整していることを理解願います。

早急に、かつ具体的対策を検討していきたいと思っております。

【その他の質問】

贈収賄事件については、中央広域環境施設組合は自治法第1号の3第3項に規定された特別地方公共団体です。今後このような贈収賄事件が起らないための対応策について、管理者である阿波市長をはじめ、構成自治体とも連携を密にしなが

◎質問 アスベスト使用の吉野川市内施設の実態は。

○答弁 国の調査対象基準を超えている施設は、川島のボイラー室と機械室の2施設である。



原 五 男 議員

観光協会のあり方は会議所と協議を進めたい

(質問) (答弁)

◎質問 吉野川市観光協会は商工会議所が事務局となつて行っているとの

たい。

事だが、全国的に各企業が財政上の問題で中止している。菊人形、菊花展を含め、吉野川市として観光協会をどのように企画運営していくのか聞き

○産業経済部長 観光協会の事務局である商工会議所と協議を重ねながら、よりよい観光行政の推進が図られるよう、環境づくりに努めていきたいと考えています。

鴨島の菊人形



菊人形、菊花展についても、約4万人もの人が見に来ていたので継続していきたいと思っています。

【その他の質問】

◎質問 吉野川市の顔である鴨島駅前再開発は。

◎答弁 方向性を見極めて協議を進めていきたい。



岸田 秀樹 議員

浸水対策について

調査して今後検討

(質問) (答弁)

◎質問 鴨島地区における県道牛島・上下島線に埋設されている、多額の金額をかけながら現在未完成の3号雨水幹線を、一時雨水の貯水タンクとして活用しJR徳島線の

下をくぐり抜け、ポンプで強制的に既存の排水管を通して江川に排水するという方法をとれば、浸水地域の市民に対して少しでも浸水被害を緩和する事ができると考えるが、

市当局としてどのような取り組みなのか、前向きな考えを答弁願いたい。

◎水道部長 旧鴨島町時代に住宅密集地域の雨水対策事業として整備を進めてきました。計画の中で中央雨水幹線は完成し現在稼働していますが、3号雨水幹線については、旧鴨島町時代に先行投資で県道牛島・上下島線の内614メートルだけの完成であり、この幹線の上流と下流が未整備のまま事業が中断しているのが現状です。この事業を完成するには多額の事業

【その他の質問】

◎質問 自主防災と自治会の関連は。

◎答弁 自主防災組織結成は自治会を主体とするのが基本であると思う。

◎質問 防災マップ作成は。

◎答弁 地域に根ざした本場に役立つ地図を作成したい。

◎質問 アスベスト対策は。

◎答弁 水道管に使用している石綿管の安全については、早い時期に広報等にて周知を図りたい。



防災マップ(案)



福岡 正 議員

児童の危機管理は万全か

安全確保の徹底を図る

(質問) (答弁)

◎質問 最近、特にこどもたちへの虐待事件が複雑多様化し、多発している。

本市の小・中学校内の危機管理の状況、及び登下校の安全対策はどうなっているか伺いたい。

研修を実施します。さらに、地域の特性を生かしつつ不審者情報の共有など、学校や通学路の安全確保を目的としたネットワークづくりを早急に図っていきたくと考えています。登下校時の安全対策に

◎教育委員会参事 市教育委員会の取り組みとしては、設置者の立場から定期的に安全点検を実施し問題を把握するとともに、関係機関と連携しながら安全確保に必要な支援をしていきます。また、警察等、安全関係機関と連携を図り、教職員に対する学校安全に関する実践的な



校庭で授業を受ける児童

質問 現在、わが国の少子、高齢化は加速度的に進展している。平成15年の日本の人口は、1億2052万人であり、47年後の62年には推計として、総人口は1億59万人まで減少し、そのうち老年人口が多くなり、今後の日本を支える労働可能

若者定住に就労場所を 企業誘致には優遇措置

(質問) (答弁)

な人口の減少が予想される。若者の市外流出を阻止し、定住政策として、工場誘致などの構想はあるのか聞きたい。

○産業経済部長 若者が定住できる企業誘致は、市としても大変重要なことだと認識しており、進



玉水好夫議員

については、各学校に対して犯罪に巻き込まれる危険箇所がないか、通学路の見直しをすること。幼児・児童・生徒が一人で登下校することがないように配慮すること。また、保護者、地域の方の協力を得て、子ども110番の家の設置や防犯ステッカーを、公用車をはじめ協力賛同していただける

【その他の質問】

車に張るなど、被害防止の啓発と抑止力につながるよう努めていきたいと考えています。

◎質問 財政改革の進捗状況と今後の展望を伺う。

○答弁 行革の答申をもとに精査し見直し、必要経費の削減に努める。

◎質問 吉野川市行財政改革の答申についてであるが、分庁方式が職員間

補助金のあり方に判断の基準は 効果・公益性・透明性等の観点で検討

(質問) (答弁)

のコミュニケーションや意思形成に支障があるというように書かれている。



高木純議員



鴨島町牛島にある工業団地

○答弁 水利組合などの組織で営農であれば、県営事業で支援できるのではないかと考える。

出企業には、企業立地促進条例を活用し、税などの優遇税制、奨励金の支給など、市民税及び固定資産税の減税もあり、積

【その他の質問】

極的に取り組んでいきたいと考えます。

◎質問 地下水低下と農業用水確保支援は。

これは距離が問題なのか、情報手段に問題があるのかまず伺いたい。また、市民が納めた税金を還元しているのが公共施設であり、住民の福祉の増進のために利用してもらうのが自治体の役割である。それを利用するからといって受益者負担というのは大いに疑問があると考えるが答弁を求める。



本庁舎方式のため、用地確保が予想される県有地

政の対応を検討して行きたいと考えられています。公共施設の使用料については、受益者負担の原則を徹底し、直接サービスを受ける市民にも理解が得られる水準とする必要があり、

中で抜本的に見直すところがあるが、どういう基準をもって補助の効果、公益性等を判断していくのか、その考えを伺う。

○企画財政部長 分庁舎による職員の意識疎通が欠けているという事はありません。行政の立場として、今の情報機能の中で意思疎通については、速やかに対応できませんが、住民に対するより速い行

施設を使う市民、使わな
い市民にも納得してい
ただける使用料設定を各
部署で検討しています。

補助金に対する効果、
公益性などの判断につ
いては、一、公益上必要
とされる団体については、
自立できるまでの一定
期間について補助する
もの。

二、社会的地位向上や
経済活動支援など市行政
を補完する役割を果た
す団体について補助す
るもの。
三、市行政を代替する
団体に対して補助する
もの。四、各種イベント
に対する補助については
費用対効果を毎年精査
しながら補助をするも
の、と大きく分けて対
応をしています。

その行革の答申の中
では、旧4町村で執行
していた補助金につ
いて抜本的に見直す
必要があるという
答申もいただいで
おり、行革推進本部
の方からあわせて
検討していくこと
にしています。

【その他の質問】

◎質問 不当支出の天然
ガス代三千五百万円、直

ちに返還を求めよ。

設組合の管理者に直
ちに連絡をとり、対
処したい。

◎答弁 中央広域環境
施設



増富義明 議員

幼保一元化を早急に
進めるべきでは
実情を踏まえ進めて
いく

(質問) (答弁)

◎質問 学校教育施設
としての幼稚園と
児童福祉

施設である保育所は、
長い歴史を刻む中
でそれぞれ独自の
機能を拡充して
きた。現在では
四、五歳のほと
んどの子どもは、
幼稚園ないし保
育所に通って
いる。幼児教育
は義務教育的な
状況にまで
到達してき
たのではない
かと考える。
しかし、



隣接する川島保育所と幼稚園

少子化が進む中で幼稚園
では、園数が減ったり園
児数が減ったりと、非常
に苦勞している状態が
続いている。
また逆に保育所では、
通常保育終了後、預かり
保育等を行い、サービス
が充実してきた今日、保
育所に預ける親は増え
続けている。単に両者の
併設と連携を推進する
ということとどまらず
幼児教育、保育サー
ビスを総合的に提供
する機関として同一
の施設主体、施設
職員による運営が
できなくてはならない
と思う。
行財政改革を進めて
いく中で、老朽化した
施設・園児児童が
減った保育所、幼
稚園を統合して、同
一施設で行う幼保
一元化に向けて積極
的に取り組んでは
どうか。

◎教育委員会参事 本
市には公立保育所が
11保育所ありま
すが、ご承知の
ように保育所と
幼稚園については
設置基準等に
おいては格差が
あります。国にお
いては現在保育
所と幼稚園の機
能を合

わせ持つ総合施設
モデル事業を今年
度実施し、これ
をもとに最終報
告をまとめるよ
うであります。
本市においては、
公立

保育所のあり方
について、幼保
一元化も視野に
入れながら統
廃合、指定管
理者制度等の選
択肢についても
検討していく
考えです。現在
教育委員会・健
康福祉部とで
施設のあり方
について事務
レベルで勉強
会を重ねて
います。

幼保一元化に
向けた取り組み
を進めていく
考えです。

【その他の質問】

◎質問 少子化対策
について吉野川
市の取り組み
は。

◎答弁 吉野川市
次世代育成支援
行動計画にそ
って進めて
いく。

◎質問 下水道事業
山瀬処理区の今
後の取り組み
は。

◎答弁 地元の一
二を踏まえ財
政状況を見
ながら再度
検討して
いく。



中山郁子 議員

空き教室で学童
保育はできないか

(質問)

今後検討する

(答弁)

◎質問 子どもを
安心して産み、
育てられる環
境

づくりの一つ
として学校の
空き教室を
利用した学



森山公民館での児童クラブ

児童保育はできないか。現在市内に空き教室は何校あるか。

また、幼稚園修了日から小学校入学までの間の留守家庭の児童に対して行政としての対策は考えているか。

働く女性の仕事と育児の両立を支援するファミリーサポートセンターの設置の考えはあるか伺う。

○健康福祉部長 放課後児童健全育成事業として実施している学童クラブ

は市内で8クラブ設置しています。平成21年度までの育成支援行動計画では現在の8か所から11か所にするのを予定しています。

ファミリーサポートセンターの設置については、センター業務を行うアドバイザー、地域リーダーの配置等の必要、また、利用会員数、ニーズ量、事業に係る経費等について精査し、前向きに検討を考えています。

○教育委員会 空教室はありますが、生徒指導上の問題、その他様々な問題を検討するための教室、あるいは総合的な学習のための部屋として有効に活用しており、余裕教室としてはない状況で

す。現在、余裕教室を開放して学童保育を実施しているのは、1校です。

また、幼稚園修了後から入学までの間の児童対策については、地域の実態や保護者の要請などを踏まえ、今後検討していきたいと考えです。

○再問 鴨島地区の校区内にも設置の要望がたくさんあるが場所がない状況である。そこで老朽化して手狭な鴨島児童館を広い場所に移転し、その中に学童保育はできないか。また、現状8か所を11か所にする計画はどのようなものか伺いたい。

○健康福祉部長 児童館については前向きに考えたいと思っています。

あと3か所の計画については、未設置の校区に開設するには利用児童数年間開設日数、開設時間等の基準が満たされるようであれば前向きに実施できるよう努力したいと考えています。

○再々問 合併特例債が

つかえないのか伺いたい。

○市長 総合施設なら可能だと思えます。鴨島児童館も大変老朽化しており子どもたちのニーズと、保護者のニーズも含めて十分に検討し、対応したいと思っています。



藤原 正 議員

中長期的な財政の見通しは 事業評価をし、見直したい

(質問)

(答弁)

○質問 春の側溝清掃日に土、日曜日を入れてできないか。

○答弁 阿北環境整備組と交渉、検討する。

を乗り切り吉野川市を支えていかなければならないと考えています。

財政状況ですが、非常に厳しい状況にあり、近い将来財政再建団体に転落する事のないような財政運営が求められているのが現実です。歳出の削減・組織機構の見直しなどに取り組まなければなりません。

吉野川市はこれまで投資的経費として、毎年20億円を上回る市債の発行をしています。この市債の累積が財政を圧迫しています。今後の事業評価をして、事業の見直しをしなければなりません。また、中長期的な財政計画を進めています。総合計画の中で3月議会に提案しますので具体的に素案ができた段階で報告をしたいと思っています。

【その他の質問】

○質問 人づくりのための学校教育のあり方は

○答弁 学校現場を重視し、より一層学校第一主義で努めていく。

○質問 合併後一年を経過したが、今後の政策課題にどのように取り組むのか。また町村職員から市職員となり職員の意識はどう変わったのか。そして財政状況が厳しいと言われているが、どの程度厳しいのか、中長期的な財政見通しについて聞きたい。

○企画財政部長 現在、

市民のページ

新生吉野川市活性化のために

鴨島町山路 榎納 義高

2004年10月1日旧麻植郡4町村は合併して人口47000人余の吉野川市となった。
鴨島町は筒井、片倉二社の大工場をはじめ中小の企業で繁栄した製糸業



鴨島駅前商店街

のメッパであった。近隣のメッパの人たちは休みには着飾って遊びに来たそうだ。あの華やかだった銀座通り、中央通りはどこへ行ってしまったのか。JR鴨島駅を降り立って町並を眺めるとほとんどの店舗はシャッターが下ろされ、残る数軒の店先に客の姿はない。街で遊ぶ子供の影もない。もうすでに廃墟同然、いま手を打たないと本当に廃墟となってしまうだろう。

町の中心が車社会の到来と同時に駅前から国道一九二号線に移ったという人もいるが、一九二号線を石井から鴨島に入ると美しい、そして個性的な町並みなどまつたく感じられない。どこかで見たことのある原色の看板と画一的で没個性の店舗が立ち並び、東京、大阪など大都会の郊外、衛星都市と言われる街と同じだ。地域に溶け込もうとする配慮もなかつたただ効率重視、利益第一主義の魂胆が見え見えだ。これでは地元根付くビジネスにはなりえないのみならず、近い将来駅前同様、シャッターが下ろされ空き家となり、スクラップされて国道吉野川廃墟街道となってしまうだろう。

50年前のお偉方はどうして製糸業に替わる産業を研究し、企業誘致などにもっと積極的に取り組まなかつたのであろうか。思わず愚痴も出るが、しかし、昔日の繁栄を懐かしみ、現下の衰退を嘆くばかりではなにも進まない。吉野川市誕生を契機として10年後20年後の魅力ある田園都市づくりに取り組むべきである。アイデアは市民の英知を結集する。そして責任ある立場の人の「やる気」が必ず成功に導くであろう。産業兵士として高度成長を支えた団塊の世代の人たちが古里を懐かしみ人生の最後の生きがいを感じたいと思っている人も多い。知恵、知恵、経験、人脈の豊富なこの人たちが帰りたくなる「ふるさと」になれば若者たちの世界も子供を連れて帰りたくなるだろう。

安心・安全を屈指した町づくりに自治会の参画を検討しては

川島町桑村 白川 岩男

今年も一月十七日には阪神淡路大震災被災者への追悼行事が行われました。

私どもも日々の生活にすくなくならず災害への懸念を抱くものであります。私の住む近くにも災害に弱いと言われる場所もあり、近隣住民からは、不安の声も日増しに高まっている状況です。自治会が市当局に向き合っていくには、まず市側に「情報処理機能」を持つ中央センターを設置し、情報処理に必要な見識を有する人材を確保する。中央センターと、各自治会間に情報処理のネットワークを結び、自治会からの情報提起は住民が自らの足で拾い集めた資料でもあり、なかでも防犯対策面では、手近に相談窓口があれば犯罪防止としての強い味方を得るものになることでしょう。

この度、吉野川市発足により市内全域に自治会がつくられました。私の居住する自治会は四十七戸ほどの小規模な自治会ですが、毎年取り組む地域の一斉清掃には、構成軒数を上回る参加者のもと、手際良い作業に額からキラリと流れる汗にもほほましい光景を覚えます。自治会の事業において清掃作業は、親睦を深める格好の機会でもあり、このムードは、次の事業に取り組む良い道になればと思われます。

安心安全な町づくりは、これまでの「なんでも行政から」一歩踏みだし自らの地域は自らの手で守るという発想に立って、監視と地道な点検を深めその努力が真の提言を生み出す成果となり、展望も開かれることでしょう。住民が自らの町づくりを目指して汗を流す姿勢に対しては、行政も真摯な動静は惜しまないものと思われます。厳しい財政状況だと思われますが、市民の声としてご検討をされますようお願いいたします。

自治会連合会の研修に参加して

山川町町 藤井 吉信

旧麻植郡四か町村が合併し、吉野川市になり、はや一年四か月が過ぎましたが、合併協議会等で協議された事項が行財政改革の名のもとに、思わぬ早さで行政サービスが遠ざかっていくような何か寂しさを感じる今日。そうした時に山川町自



研修風景

春日学区は鴨川と御所の間に位置し、高齢化、少子化が押し寄せ、昭和三十年に五千五十一人だった人口は、平成八年には半分以上の二千五百人となり、高齢化率も昭和五十年に十四・一％、平成八年には二十一・六％に。明治二年

からの小学校も廃校に。「このままでは地域からどんどん人がいなくなったり人のぬくもりを感じられなくなるのでは」という危機感から住民の手によるまちづくり活動が始まったそうです。その最初のきっかけが、地域内に突如持ち上がった高層マンション建設計画による環境問題であり、また、身体の不自由な高齢独り暮らしの焼死事件だったのです。具体的な問題を地域の課題ととらえ、自分たちで取り組み、自発的な地域協同で対策を行い、問題を他人任せにできなかったことが、現在の春日学区の人と体制をつくり上げる結果になりました。

元小学校の教室を利用したデイケアセンターで、月二回サロンを開催。防災マップには福祉防災マップとして、避難場所や経路などが記入され、二年ごとに改訂。地図上には、独り暮らしや寝たきりお年寄りなどの世帯を色分けしたマップを作成し、ボランティア用として状況が一目で把握ができるようにしています。防災教室は月一回実施。防災訪問で要配慮者家庭を訪れ、問題があれば消防署に連絡することにしており、各戸配布の広報紙は毎月一回発行。読めば自治・防災・福祉に関する地域の情報を知る啓発に大いに役立っています。最後に、「この地域に生きていく」「この地域が一番好きだ！」という一人ひとりの強い地域愛が、今日の住民福祉社会の発展につながっていると、高瀬会長が力強く訴えた言葉に感動しました。明日からの地域づくり、少しでも参考にした、強い思いを抱きつつ、春日学区を後にしました。

クイズ

次のことわざを完成させてください。
(ヒント)十二支に関係あります。ひらがなでも可。

- 一、□に引かれて善光寺ま
いり
- 二、□子にも衣裳
- 三、□も歩けば棒にあたる
- 四、□の登り坂
- 五、画□点晴を欠く
- 六、数をつついて□を出す

(前回の解答) 六 三 五 九 二 一
正解者の中から抽選で10名に記念品を進呈します。

応募要領ノはがき、またはファックスに答えと住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議事事務局へお送りください。

送り先/〒七七六 八六一一
吉野川市鴨島町鴨島二一五一
☎〇八八三 二二二 二二四二

吉野川市議事事務局
締め切り日/平成十八年四月十日

平成17年度 12月議会定例会

議案の審議から

日程：平成17年12月1日～12月19日

12月定例会では 条例関係案7件 決算認定10件 予算案16件 その他27件などが市長から提案され 原案どおり可決しました。

総務常任委員会

補正予算

▼一般会計（関係部分）

◎細井英輔委員 鴨島地区での古紙の回収の予算が計上されているが、業者は決まっているのか。

市が収集した古紙を業者に金を支払い引き取ってもらう。業者はその古紙を資源として売るのであれば、二重取りだ。センターにストックしたものを、学校やPTAの廃品回収に役立てることは



鴨島町リサイクルセンター

できないのか。

◎答弁 業者選定については、近くの古紙回収業者から見積書を提出してもらい決定する。

古紙は回収業者にリサ

イクルセンターまで取りに来てもらい、自分の倉庫へ保管ののち処理業者に運ぶこととなる。処理料として、新聞紙は無料、段ボール1kgあたり2円、雑誌は4円業者に支払う。川島の小・中学校PTAで古紙回収を実施していたが廃止された。市が直営で再開するとすると、市内の自治会や各種団体等へ要綱を作り周知しなければならぬので、補助金等で1千万円～2千万円の予算化が必要と思われる。

◎近久善博委員 今の職員体制でやっていけないほどの回収量なのか。

◎答弁 鴨島分と西環境センター分のごみは、現在、回収品目についてもばらばらである。市内でできるだけ統一するため、鴨島でも古紙回収に踏み切った。

間もなく鴨島地区の収集センターもでき上がり、来年1年間の回収予定も掲載されているので、計画どおり実施したい。

◎谷田義一委員 西環境センターでは、もうすで

に古紙回収に取り組んでいる。そのデータ等を委員に回してはどうか。

◎答弁 データについては、議員全員に配布する。北川委員 古紙回収は基本的に必要と考えるが、古紙を収集しセンターにストックする。そこで直接業者に有償で売った方が効率的で市の雑入にもなる。

今回の予算措置は事後承諾のような感じがして理解しづらい。1月から3月までは仕方ないとしても、新年度の4月以降は情勢を見極めながら進めることを確約してもらいたい。

◎答弁 3月までは計画のとおりやることについて理解願いたい。4月以降は、議会とも相談し行動したい。

◎中山郁子委員 山路地区の墓地造成の委託料が出ているが、何基分ぐらいの墓地区画を予定しているのか。

◎答弁 墓地造成予定地区が、2875㎡であり、一区画5㎡ほどの予定であるが、地形がゆがんで

いることや駐車場も取りたいことなどから、測量設計してみなければ、現時点では何基取れるかわからない。

◇異議なしで可と決定



山路地区墓地造成予定地

請願

▼チャイルドシート購入補助の交付を求める請願
・紹介議員 犬伏正春議員

◎北川委員 補助金は1件につき、どのくらいと考えているのか。

また、補助金を出している県内外の市町村の現状はどうなっているのか。

◎答弁 犬伏正春議員 予算については財政難の折、予算の付く範囲内でお願したい。

他市町村の資料は持ち合わせていない。

◇異議なしで可と決定

文教厚生常任委員会

指定管理者の指定

▼飯尾敷地コミュニティセンター（他10件）
◎増富義明委員 山川の公民館が、会計検査で指摘されたと聞かすが、どういふことか。

また、管理運営委託料について、1か月ごとの支払いだということだが、経営破綻して管理ができなくなった場合、市が助けるようなことはないのか。



合併後山川庁舎内に移転した福祉協議会

またイベント等を行うときに補助をするのか。

○答弁 目的外使用というところで、社会福祉協議会への部屋貸しについて指摘を受けた。

経営破綻の場合の支払いやイベントの補助についても、市が負担することはない。

○岡田光男委員 鴨島公民館の16年度の人件費等の支出と、指定管理者の予算はどれくらいか。



指定管理者制度導入の鴨島公民館

○答弁 経費は約4、600万円。そのうち、人件費は約2、700万円。管理委託料として申請しているのが約3、200万円である。

○田村修司委員 指定管

理者制度の導入で、サービスの低下にならないのか。

また、イベント時に事故が起こった場合の保険等はどのようになるのか。

契約期間は3年だが、経営がうまくいかなかった場合は。

○答弁 基本的に指定管理者にすることが、サービスの向上になると考えている。

経営破綻しないよう指導しながら、協定書については1年ごとに締結の予定としている。

また、事故時の保険等については、公民館総合補償制度という保険に加入する予定だ。

◇以上異議なしで可と決定

条例の廃止

▼鴨島町在宅ねたきり老人等介護慰労金支給条例

○岡田光男委員 敬老祝い金など、いろいろな高齢者に対する支出を削減している。この介護慰労金支給まで廃止しなくてもよいのでは。

○答弁 この制度は、旧鴨島町だけの事業であっ

たことと、多面的に経費削減を行うことを考えた上で廃止とすることにしたので、理解いただきたい。

産業建設常任委員会

補正予算

▼一般会計（関係部分）

○藤原一正委員 道路新設改良費の手数料100万円及び、街路事業費の委託料400万円について内訳を説明願いたい。

○答弁 100万円については、道路改良工事に伴う耕作物や物件補償費を算定するための手数料である。

委託料400万円については、建物や樹木また営業補償金額を算定するための委託料である。

○後藤田哲夫委員 農業委員会費の需用費について、利用権の設定はどのくらいあるのか。また、特区ができていくがそういうものはあるのか。

上校温泉の修繕料についてどういった内容なのか。

バンブーパークのトイレ移設工事費が440万円ということだが、水の被害を検討したうえで移設位置を決定したのか。

住宅管理費の修繕費について、現在多くの修繕費がかかることから、国土交通省については、民間並みの家賃に変える」と新聞報道されていたが、そういった通達等はないのか。また今後どう取り組むのか。



山川バンブーパーク

○答弁 本市の利用権設定については、226件412筆、約39町となっている。また、特区についての利用権設定はない。

上校温泉の修繕料については、以前から修理して使用してきた熱交換機

が修理不可能となったために交換するもの。

また、バンブーパークトイレ移設工事については、最も適当な場所への移設を計画していたが、国土交通省との協議の結果移設できなかった等の経緯もあり、今回1m50cm位置を上げるようになった。昨年23号台風のような異常な降雨以外は漬かることはないものと考えている。

住宅家賃については、具体的指示は来ていないが、家賃を上げる検討はされている。具体的には検討委員会で協議していきたい。

修繕については、管理者の義務であり入居者に負担がかからないように進めていきたい。

○岸田秀樹委員 住宅管理費の中の修繕費については、耐用年数を過ぎた住宅も含めての修繕費なのか。

○答弁 耐用年数を過ぎた住宅も含んでいる。

○高木純委員 街路事業費の補助金が大幅に減っているが、どの部分が削

減されたのか。

公営住宅のアスベスト調査について、どのように、またどんな目的で実施するのか。

○答弁 街路事業費は補助金要求額の半分以下が確定するのが現状であり、国の方向性は町づくり交付金にて事業を行ってほしいということ、補助金は削減されてきており、そのための減額である。その確定した補助による事業費にて事業を実施していくもので、どの部分がかわるといえるのではない。

アスベスト調査については、約40あるものから10程度のサンプルを年度や型により分類して検査するものである。目的としては、解体時にアスベストが含まれる場合とそうでない場合にかかる費用が違うため、その把握と、現在入居している人に被害が及ばないために行うものである。

◇異議なしで可と決定

指定管理者の指定

▼ぶどう総合管理センタ

1 (他11件)

◎後藤田哲夫委員 施設運営について、指定管理者に変わったことで、改善点やサービスの向上等について、今までとどこが変わったのか。

バンブーパークの場合建設業者が管理者となっているので、その施設の災害復旧の時には、その業者は指名からははずすべきではないのか。

指定管理者制度について、合併により、旧町村ごとに同じような施設がある。指定管理でそのまま残すのではなく、スリム化も検討すべきでは。◎答弁 指定管理者になつてどう変わったかは、文書にて提出したい。

また、管理者の指名については、市の方へ指名願いが出ている以上、指名から外すことは難しい。施設数等の削減によるスリム化については、合併の効果を出すためにも各施設の適正な規模や数について、しばらく推移をみて、議会とも改めて相談・協議をしたい。

◎藤原一正委員 バンブー

1パークの指定管理者の契約内容について、昨年の台風23号のように、施設が水に漬かって膨大なゴミが出た場合等の清掃の費用はどこが出すのか。被害の想定をし、管理にかかる費用も把握したうえで契約すべきでは。

バンブーパークについて、昨年と今年の台風の被害の復旧にかかった費用はいくらなのか。また、管理者による復旧については企業努力により、安くできるのではと思うが。

◎答弁 台風による被害の場合は、清掃・復旧等すべて市が行う方針である。また、災害査定にからない規模の小さなものについては、管理者との随意契約も検討したい。

管理にかかる金額については、現在より1割程度安くなる予定だが、来年の2月に協定を締結する時に決定する。また、台風の被害の復旧にかかった費用は昨年の23号時は約240万円、今年のは14号では、約120万円であった。

◎高木純委員 指定管理

者にすることで、今までの維持管理費より1割程度安くなるということだが、案として、今までの金額で災害時の復旧等も含めての指定管理とすることはできないのか。

◎答弁 災害による復旧にかかる金額等を想定できないため、難しい。

◎岸田秀樹委員 指定管理者の施設で事故が起った場合の責任や、事故に対する保険は市がかかるのか。管理者がかけるのか等、そういった細かい話もつめておくべきでは。

指定管理者の選定については、議員も説明責任があるため、各常任委員会の委員長も交えての選定してもらいたい。

◎答弁 保険等の細かい方針については、話が出てきているものと、そうでないものがあるため、再度検討して決めていきたい。

また、指定管理者選定の議会常任委員長の出席については、来年度以降前向きに検討したい。

◇以上異議なしで可と決定

条例の一部改正

▼上水道給水条例及び簡易道事業給水条例

◎高木純委員 上水道条例の一部改正に関連して、古い水道管の布設替えも想定していると思うが、そのうち石綿管が鴨島町に何メートルあって、いつまでにすべて替えることができるのか。

また、水道の石綿管について、健康面について安全であるといえるのか。



鴨島取水場

◎答弁 鴨島町の石綿管については、平成17年度当初で2,671m残っていた。石綿管の布設替えについては、平成18年度並びに19年度の施工により完了する予定である。石綿管の安全性については、厚生労働省やWH

も安全であると示している。水道の石綿管の安全性については確信している。

◎後藤田哲夫委員 出入りの多い賃貸住宅等の水道の再開栓手数料2万円について、入居者が変わるたびに必要になってくるのか。また、市営住宅の場合はどうか。

水道使用料の滞納整理の方針について説明願いたい。

◎答弁 再開栓手数料の扱いについては、平成18年度から統一し、民間の賃貸住宅の場合は、旧鴨島町が行っていたように、入居者の退居等により一度使用を止めた場合、メーターを廃止扱いとし、新たに入居者がある場合は再開栓手数料をいたただくように予定している。

また、市営住宅の場合もそれぞれにメーターが付いている場合には、手数料は必要になってくる。水道料金の滞納についての時効消滅は2年に決定した。現在、滞納者に督促・催告をおこない、それでも納めない場合は、

給水停止の措置をとるようになっている。

◎岸田秀樹委員 水道の再開栓手数料のからない休止扱いを取りやめるということは、市民にとっては、余計な負担となるのではないのか。

また、入退居のたびにいちいちメーターを付け外していたのでは、それ自体が無駄な経費ではないのか。

◎答弁 旧鴨島町については、これまで再開栓手数料として2万1,000円であったものが2万円と安くなり、ご指摘とおり旧山川町・川島町については、高くなるが、頻繁な出入りを抑制するという効果もあると考えている。また、マンション等の場合、1.2か月で入居者が入る場合は、基本料金のみのため、メーターは廃止せずに継続しているという現状もある。入居者の入れ替わりが多い公営住宅や民間の集合住宅等の水道再開栓手数料の取り扱いについては、今後十分検討したい。

◇以上異議なしで可と決定

本 会 議

本会議では、各常任委員会及び決算特別委員会で審議された内容について、各委員長の報告が行われました。各委員長の報告は、付託された案件はすべて可とするものでした。委員長の報告のとおり本会議でも可決・認定されました。

質 疑

◎北川麦議員 水道給水条例の一部を改正する条例制定について伺う。

合併協では、住民サービスは高く、住民負担は低くとうたっている。しかし今回の条例改正では、鴨島地区の水道料金が大幅に値上がりする。なぜか。

○答弁 施設等が老朽化しており、特に鴨島地区には約1km以上の石綿管を早急に取り替えなければならぬ。

また、上水道事業は公営企業会計として、赤字を出さないよう独立した

経営が必要である。これらのことを総合的に勘案し今回の料金設定となった。

◎再問 水道料金だけを見て、公共料金や租税公課の全体を見ない不毛の論議はしたくない。そこで、市民が支払う公共料金及び税の一年間の総額を少しでも安く設定できるのか。

○答弁 今回の公共料金の調査に当たっては、水道料金をはじめ、国保税、保育料を行う。また、3月議会では、介護保険料も調整する予定である。

鴨島地区では、水道料金は値上げになるが、介護保険料のアップ率は低く抑えられており、公共料金全体を見ると、旧町村間のバランスはおおむね保たれていると考えている。行政改革等に精いつばい力を入れ、指摘のような方向で努力する。

◎岡田光男委員 水道料金について質疑を行う。

今回の改定では、山川町の下がった分を鴨島町でカバーしたという感じがする。合併前の有収率は、山川で65%、鴨島で90%だ。漏水などを直し、有収率を上げれば値上げをしなくてすむ。有収率を何%に設定し料金設定したのか。

また、山川では7%以上の企業債が6割を占めている。低金利への借り替えはできないのか。

○答弁 有収率は82・9%と設定した。有収率を上げるために、今後漏水調査等を行い、古い管については予算内で更新しながら、収益向上に努めたい。

企業債の借り替えは、条件がそろえば可能だが政府資金については難しい。

◎再問 9月の水道決算の審議の中で、「繰り上げ償還に対する要望が各地で高まっている。今後研究する」との答弁だったが、どのような研究をしているのか。

有収率については、合併前よりも6%近く上昇

している。有収率は今後も上がっていくと思われるし、費用削減を行うことで値上げしなくてすむのでは。

○答弁 資本的な費用が著しく高い場合で6%以上は繰り上げ償還できるが、吉野川市では現在では該当しているものはない。今後、三位一体改革に伴ういろいろな制度等が出てくる中で、償還の特例等も出てきた場合は、迅速に対応したいと考えている。

また、有収率のアップは、管がかなり老朽化しているの、漏水調査をし、その部分を段階的に直していく以外には方法はないが、早い時期に漏水調査をやっていく予定にしている。

◎高木純議員 指定管理全般について伺う。指定管理者制度の導入の目的は、コストの削減だと考えるが、顕著に費用の削減につながったものは何か。そのことで住民へのサービスの低下はないのか。

また、業務内容の中で、

ないよう設定している。

意見書等

▼非核・平和都市宣言に関する決議

・提出議員 北川麦議員
▼「公契約法」の推進など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書

・提出議員 福岡正議員
▼最低保障年金制度の創設を求める意見書

・提出議員 岡田光男議員
▼患者・国民負担増の医療改革の中止と「保険で安心してかかれる医療」を求める意見書

・提出議員 岡田光男議員
▼人権侵害の救済を確立する「人権擁護法」の早急な制定とさらなる人権教育・啓発の推進を求める意見書

・提出議員 犬伏正春議員
▼真の地方分権改革の確実な実現に関する意見書

・提出議員 工藤俊夫議員
▼議会制度改革の早期実現に関する意見書

・提出議員 工藤俊夫議員
◇以上異議なしで可決

募集要項

表紙の写真

募

集

テーマ 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など。
規定 モノクロ及びカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可
 (3点まで)住所・氏名・電話番号・題名を明記。

原稿料 5,000円

締め切り 平成18年4月10日(消印有効)
 発行は5月です。季節感のあるものをお願いします。

その他 作品の返却は行いません。採用された作品の使用及びトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。

応募先 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
 吉野川市議会広報特別委員会「表紙写真」係
 TEL(0883)22-2241

市民の皆さんの声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。匿名も可。

規定

● 原稿用紙三枚以内
 (四〇〇字詰)
 住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記(匿名の場合も)

● 締め切り

平成十八年四月十日

(消印有効)

* 投稿多数等で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正等は、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

― あて先 ―

〒七七六 八六一

吉野川市鴨島町鴨島

― 一五番地 ―

吉野川市議会

広報特別委員会

「市民の声」係

TEL

(〇八八三)二二二四

FAX

(〇八八三)二二二四

あとがき

毎年、旧年を無事に過ごせたことへの感謝の気持ちと、新年への思いを込めて鏡餅をお祀りしますが、聞くところによると、鏡餅とは神様と人とを仲介するものであり、一年間の晴れの日に、神前に捧げた餅をみんなで分け合って食べることで、神様からの祝福を受けようという信仰・文化の名残なのだそうです。我が吉野川市政も、みんなで幸せを分け合つて、みんなが笑顔でいられるような、生き生きとしたものにしていくなら素晴らしいと思います。

市民の声によって産声をあげた吉野川市議会も、はや一歳になりました。少子高齢社会の到来をはじめとして、様々な問題が山積してきますが、これまで以上に市民の声に耳を傾け、「夢紡ぐまち 新・生活創造都市 吉野川市」の実現をめざして、充実した一年になるよう、頑張りましょう。

田村修司



母衣霧露滝 富樫 晃